

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 函館緑花会	代表者	伊藤 巧	法人・ 事業所 の特徴	美ヶ丘敬楽荘せせらぎの家「きずな」は、住み慣れた地域での生活を出来るだけ継続出来るよう、地域住民との交流や社会参加を図りつつ、「通い」「訪問」「泊り」サービスを柔軟に組み合わせながら支援いたします。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 美ヶ丘敬楽荘せせらぎの家 きずな	管理者	坂井 敦子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	人	1人	人	1人	人	4人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	個人の評価なのか、事業所の評価なのか、曖昧な部分があり、しっかりと分けて評価を実施する。	職員に自己評価を提出してもらった際に、個人の評価ではなく、事業所の評価になっているものについては、個人の評価に訂正してもらい再提出してもらった。個人の評価を踏まえて、事業所として自己評価を行うことができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・真剣に取り組んで評価しているのが分かる内容であった。 ・普通なかなかなか聞くことができない事業所の考えを聞くことができた。 	事業所自己評価作成の際に、しっかりと時間を確保し、なるべく多くの職員に参加してもらい意見を交わす。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・雰囲気を明るくするためと衛生的な面から、ホールの絨毯マットをフローリングへ変更する。 ・玄関、廊下の照明は常につけたままにする。 ・桜回廊の時期に無料休憩所設置し地域の方にお茶を出すことを継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールの絨毯マットをフローリングへと変更した。雰囲気が明るくなり、外部の方からも良い評価を受けた。 ・玄関、廊下の照明をつけたままにしすると、今まで18時に玄関のカーテンを閉めていたものを20時まで開放し、入りやすい雰囲気を作り出した。 ・桜回廊で無料休憩所を設置し、地域の方、観光客へお茶を出した。計86名の方が利用されている。後日、お礼の手紙を受けることができた。 	桜回廊無料休憩所は継続してもらいたい。他事業所の利用者様も利用しやすい雰囲気だった。	<ul style="list-style-type: none"> ・桜回廊無料休憩所を継続する。 ・玄関前に人目を引くもの設置し、事業所に入りやすい雰囲気を作る。

C. 事業所と地域のかかわり	桜回廊無料休憩所の実施にあたり、地域の方にボランティアとして手伝っていただく。	いこい食堂で桜回廊無料休憩所ボランティアを募集し、2日間で延11名の方に協力していただいた。	大野地区に関しては緑花会と雄心会が広くカバーしてくれているので安心感がある。	桜回廊無料休憩所の実施にあたり、地域の方にボランティアとして手伝っていただく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	いこい食堂と連携し地域で不安を抱えている方の相談を受ける。	いこい食堂を当事業所の利用者様が利用する際に、色々と質問を受け、介護についての相談に乗る機会ができた。	地域のイベント等には参加していると思う。	包括支援センター、民生委員、町内会長など地域の資源と連携をとって行く。
E. 運営推進会議を活かした取組み	きずなの活動について、分かりやすく説明し、ご意見を取り入れていく。 ・中学校の職場体験の誘致を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動ビデオを作成し、分かりやすい説明に努めた。 ・中学生の職場体験は実現できなかった。 ・運営推進会議で出た廊下は明るい方が良いとのご意見を取り入れて常に廊下の電気をつけるように改善した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学校の生徒に社協は清掃をしてもらっている。 ・運営推進会議に今まで参加してもらっていなかった町内会に声をかけてはどうか。 	新たな町内会へ参加を依頼し、幅広くご意見を頂けるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	運営推進会議委員が参加しやすい日時を設定し、避難訓練等を見学していただく。	準備不足のため、運営推進会議委員に参加していただくことができなかった。	運営推進会議委員の参加自体よりも、しっかり避難訓練が行えていることが重要。	運営推進会議委員が参加しやすい日時を設定し、避難訓練等を見学していただく。